

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社アップガレージグループ 上場取引所 東
 コード番号 7134 URL <https://www.upgarage-g.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 映彦
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 大口 智文 TEL 045-988-5777
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,542	8.0	262	△10.0	274	△10.8	176	△6.7
2023年3月期第2四半期	5,131	6.9	291	15.5	307	19.4	189	14.1

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 174百万円（△6.3%） 2023年3月期第2四半期 186百万円（13.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	22.37	22.12
2023年3月期第2四半期	24.02	23.82

（注）当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,521	3,549	64.3
2023年3月期	5,520	3,534	64.0

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 3,549百万円 2023年3月期 3,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	63.00	63.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	22.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	10.1	1,000	18.1	1,011	15.6	583	4.2	74.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）一、除外 2社（社名）株式会社アップガレージ、株式会社ネクサスジャパン

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	7,894,200株	2023年3月期	7,877,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	207株	2023年3月期	207株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	7,884,091株	2023年3月期2Q	7,873,481株

（注）当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、経済社会活動の正常化が進んだものの、原材料費等の高騰や為替の影響による物価上昇など個人消費への影響が懸念され、先行きが不透明な状況が続きました。

国内の自動車関連市場に関しては、コロナ禍において世界的な半導体不足等の影響により低迷していた新車登録台数が回復し、前年同期を上回る結果となりました。中古車登録台数についても、新車販売の増加に伴って前年同期を上回る結果となりました。

こうした市場環境の中、リユース業態においては前期に引き続き、原材料費や燃料費等の高騰による物価高や新品カー用品・バイク用品の値上げが続いている中で、中古用品やリユース市場に対する需要の高まりによって買取及び販売が好調に推移いたしました。

新車供給の回復及び中古車流通の増加に伴い、自家用車の乗り換えの動きが活性化されたことによって、乗り換え前の車体のカー用品の買取及び乗り換え後の車体のカー用品の販売が増加いたしました。

直営店舗においては、買取及び販売のマーケティング強化と取付サービスの拡充等によって利益率の改善を進めました。また、2022年11月にリリースしたアップガレージ公式アプリでは、買取や取付の予約をアプリ上で管理できる機能を開発いたしました。実店舗とお客様を繋ぐOMO戦略の拡大とサービスの利便性の向上を図ることで買取や取付の予約件数は順調に増加しております。

新業態の中古自転車の買取・販売ブランドの「アップガレージ サイクルズ」及び中古カスタムカーの販売を行うブランドの「アップガレージ カーズ」についても、新たな顧客層の開拓に寄与いたしました。

これらの施策により、直営店舗における既存店売上高の対前年同期比は100.6%となりました。

フランチャイズ関連についても、新規出店及びフランチャイズ店舗の増収によるロイヤリティ、EC手数料、その他付帯収入が順調に増加いたしました。

この結果、リユース業態(直営店舗運営、フランチャイズシステムの運営、ECサイト運営)による収入は3,454百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

当第2四半期連結会計期間末時点の直営店及びフランチャイズ店の業態別の合計店舗数は、230店舗となり、その内訳は、「アップガレージ」136店舗、「アップガレージ ライダース」73店舗、「アップガレージ ホイールズ」10店舗、「アップガレージ ツールズ」2店舗、「パーツまるごとクルマ&バイク買取団」5店舗、「アップガレージ サイクルズ」3店舗、「アップガレージ カーズ」1店舗となっております。なお、直営店及びフランチャイズ店の拠点数の合計は171拠点となっております。

当第2四半期連結会計期間末時点の各業態別の店舗数は次のとおりであります。

(単位:店)

	アップガレージ	アップガレージ ライダース	アップガレージ ホイールズ	専門店ブランド	合計
直営店	25	16	3	9	53
F C店	111	57	7	2	177
合計	136	73	10	11	230

(注) 専門店ブランド内訳:「アップガレージ ツールズ」(直営店:2)、「パーツまるごとクルマ&バイク買取団」(直営店:3、F C店:2)「アップガレージ サイクルズ」(直営店:3)、「アップガレージ カーズ」(直営店:1)

流通卸売業態においては、前期から引き続きタイヤメーカーや各メーカーの値上げによる受注減少の懸念があるものの、「ネクスリンク」(受発注プラットフォーム)においては中古車市場の好調に伴う既存取引先の受注増加及び新規取引先の拡大により好調に推移いたしました。また、「タイヤ流通センター」も、加盟店の増加により堅調に推移いたしました。

この結果、流通卸売業態による収入は2,076百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

当第2四半期連結会計期間末時点の「タイヤ流通センター」ブランドの直営店及びフランチャイズ店の加盟店合計は182店舗となっております。

自動車関連業界に専門特化した人材紹介サービス「BoonBoonJob(ブーンブーンジョブ)」も、企業の採用活動活性化に伴い契約企業及び登録者数が共に増加いたしました。

この結果、その他の収入は11百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

販売費及び一般管理費としては、全社的にコスト削減に努めたものの、ベースアップや福利厚生・人事制度改革に伴う人件費等の増加及び、新規出店や既存店舗の改修、設備投資があったことにより前年同期比で大きく増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高5,542百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益262百万円(前年同期比10.0%減)、経常利益274百万円(前年同期比10.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益176百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減	増減率(%)
総資産	5,520	5,521	△0	0.0
負債	1,986	1,972	△13	△0.7
純資産	3,534	3,549	14	0.4

(資産)

流動資産は3,535百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。これは主に、商品が77百万円増加した一方で、法人税等の税金納付及び配当金支払等によって現金及び預金が86百万円、売掛金が43百万円減少したことによるものであります。

固定資産は1,986百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が31百万円減少した一方で、新規出店等による設備投資に伴い有形固定資産が58百万円、ソフトウェア開発に伴い無形固定資産が46百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は5,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は1,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が100百万円増加した一方で、法人税等の税金納付によって未払法人税等が83百万円、買掛金が66百万円減少したことによるものであります。

固定負債は384百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に、リース債務が8百万円減少した一方で、資産除去債務が11百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,972百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産合計は3,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当165百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益176百万円の計上によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、1,772百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、241百万円の収入（前年同期は58百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が274百万円（前年同期は308百万円）、減価償却費が114百万円（前年同期は89百万円）あった一方で、法人税等の支払額が140百万円（前年同期は168百万円）、棚卸資産の増加額が77百万円（前年同期は145百万円）あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、231百万円の支出（前年同期は145百万円の支出）となりました。これは主に、システム開発に伴う無形固定資産の取得による支出が104百万円（前年同期は106百万円）、店舗の新規出店等の設備投資及び既存店舗の改修に伴う有形固定資産の取得による支出が136百万円（前年同期は47百万円）あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、93百万円の支出（前年同期は469百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増額が100百万円（前年同期は純減額が300百万円）、配当金の支払額が165百万円（前年同期は124百万円）、長期借入金の返済による支出が21百万円（前年同期は29百万円）あったことによるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移しており、2023年5月15日に公表いたしました「2023年3月期決算短信」における「2024年3月期の連結業績予想」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,858,587	1,772,223
売掛金	807,816	763,849
商品	794,654	872,353
その他	149,584	126,697
流動資産合計	3,610,642	3,535,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,035,830	1,078,047
減価償却累計額	△461,331	△482,564
建物及び構築物(純額)	574,498	595,483
機械装置及び運搬具	278,001	321,783
減価償却累計額	△200,537	△211,910
機械装置及び運搬具(純額)	77,464	109,873
工具、器具及び備品	362,399	395,280
減価償却累計額	△297,401	△312,706
工具、器具及び備品(純額)	64,998	82,573
土地	167,908	167,908
リース資産	74,094	60,470
減価償却累計額	△32,653	△31,148
リース資産(純額)	41,440	29,321
有形固定資産合計	926,310	985,160
無形固定資産		
ソフトウェア	356,777	392,194
その他	54,077	64,932
無形固定資産合計	410,855	457,126
投資その他の資産		
投資有価証券	18,799	19,699
長期貸付金	161,098	157,999
繰延税金資産	41,652	10,110
敷金及び保証金	330,285	333,478
その他	21,297	23,217
投資その他の資産合計	573,133	544,505
固定資産合計	1,910,299	1,986,793
資産合計	5,520,942	5,521,916

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	556,930	490,729
短期借入金	450,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	35,055	13,352
リース債務	9,634	5,216
未払金	172,339	175,048
未払法人税等	167,052	83,176
賞与引当金	24,176	28,055
ポイント引当金	19,532	11,844
その他	168,976	230,341
流動負債合計	1,603,697	1,587,764
固定負債		
リース債務	35,894	27,108
長期預り保証金	175,220	174,520
資産除去債務	171,217	182,902
固定負債合計	382,331	384,531
負債合計	1,986,029	1,972,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	519,760	522,325
資本剰余金	886,985	889,550
利益剰余金	2,129,977	2,140,915
自己株式	△122	△122
株主資本合計	3,536,600	3,552,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,933	3,728
為替換算調整勘定	△4,620	△6,775
その他の包括利益累計額合計	△1,687	△3,047
純資産合計	3,534,912	3,549,620
負債純資産合計	5,520,942	5,521,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,131,819	5,542,042
売上原価	2,998,926	3,269,307
売上総利益	2,132,893	2,272,735
販売費及び一般管理費	1,841,019	2,010,173
営業利益	291,874	262,561
営業外収益		
受取利息及び配当金	911	884
受取手数料	3,820	4,158
受取保険料	5,908	5,632
為替差益	7,793	4,237
その他	4,444	3,892
営業外収益合計	22,878	18,805
営業外費用		
支払利息	1,662	1,179
支払補償費	4,988	5,329
その他	698	559
営業外費用合計	7,350	7,068
経常利益	307,402	274,299
特別利益		
固定資産売却益	2,691	425
特別利益合計	2,691	425
特別損失		
リース解約損	1,634	99
特別損失合計	1,634	99
税金等調整前四半期純利益	308,459	274,625
法人税、住民税及び事業税	90,217	66,836
法人税等調整額	29,150	31,437
法人税等合計	119,368	98,273
四半期純利益	189,091	176,352
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,091	176,352

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	189,091	176,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△280	795
為替換算調整勘定	△2,072	△2,155
その他の包括利益合計	△2,352	△1,360
四半期包括利益	186,738	174,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,738	174,992
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	308,459	274,625
減価償却費	89,881	114,109
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,475	3,878
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,765	△7,688
受取利息及び受取配当金	△911	△884
支払利息	1,662	1,179
固定資産売却損益 (△は益)	△2,691	△425
リース解約損	1,634	99
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,068	43,967
未収入金の増減額 (△は増加)	2,869	△1,224
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△145,135	△77,699
仕入債務の増減額 (△は減少)	△79,145	△66,201
未払金の増減額 (△は減少)	△18,998	12,662
未払費用の増減額 (△は減少)	△70,248	75,348
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,915	△22,429
預り保証金の増減額 (△は減少)	△4,570	△700
その他	57,124	33,363
小計	111,238	381,979
利息及び配当金の受取額	873	846
利息の支払額	△1,529	△1,206
法人税等の支払額	△168,941	△140,298
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,359	241,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,900	△136,814
有形固定資産の売却による収入	7,925	8,828
無形固定資産の取得による支出	△106,848	△104,122
投資有価証券の売却による収入	196	—
貸付金の回収による収入	3,601	3,618
敷金及び保証金の差入による支出	△10,950	△3,348
敷金及び保証金の回収による収入	8,918	176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,058	△231,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△29,994	△21,703
リース債務の返済による支出	△15,158	△11,975
自己株式の取得による支出	△61	—
ストックオプションの行使による収入	—	5,130
配当金の支払額	△124,470	△165,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△469,684	△93,725
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,725	△2,295
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△674,827	△86,364
現金及び現金同等物の期首残高	2,074,588	1,858,587
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,399,760	1,772,223

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループはカー&バイク用品関連の買取、販売及びその付随業務からなる単一セグメントであるため、記載を省略しております。